

公募推薦入試 [専門高校、専門学科・総合学科対象]

[専門高校、専門学科・総合学科対象]は、現役生対象の入試です。

※公募推薦入試(専門高校等対象)は同一試験日の公募推薦入試(総合評価型)や、他の公募推薦入試(専門高校、専門学科・総合学科対象)との併願はできません。

科目・配点

入試種別	学部	本学独自試験	合計
〔専門高校、 専門学科・ 総合学科対象〕	経済学部 法学部	英語100点 + エッセー100点	= 200点
	経営学部	国語100点 + 面接100点	= 200点
	政策学部	英語100点 + 小論文100点	= 200点
	国際学部 社会学部 環境サステナビリティ学部※2 農学部	小論文100点 + 面接100点	= 200点
	情報学部※2	数学100点 + 小論文100点	= 200点
	理工学部※2	数学(化学※1)100点 + 小論文100点	= 200点

※1:化学は、応用化学課程志願者のみ選択可。

※2:環境サステナビリティ学部・情報学部:2027年4月新設予定(設置届出中)／理工学部:2027年4月、「先端理工学部」より名称変更

解答方式・試験時間・試験内容

学部	科目	形式	試験時間	試験内容
経済学部	英語	マーク式(70分)		英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ
	エッセー	記述式(120分)		受験生の論理的思考力や文書表現力等を評価し、経済学部での学修にあたっての適性を判断します。
経営学部	国語	マーク式(40分)		現代の国語・言語文化・論理国語(いずれも古文・漢文除く)
	面接	—		経営学部の入学受入れの方針(アドミッション・ポリシー)について事前に理解しておくことを前提に、出願書類を基にして、志望動機・これまで取得した資格・大学生生活の抱負などをふまえて適性を判定します。
法学部	英語	マーク式(70分)		英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ
	エッセー	記述式(90分)		受験生の論理的思考力や文書表現力等を評価し、法学部での学修にあたっての適性を判断します。
政策学部	英語	マーク式(70分)		英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ
	小論文	記述式(60分)		受験生の文章表現力や論理性などを評価し、政策学部で学ぶにあたっての適性を判断します。
国際学部	小論文	記述式(60分)		受験生の思考力、文章構成力などを評価し、国際学部で学ぶにあたっての適性を判定します。(グローバルスタディーズ学科では英語の小論文となります)
	面接	—		国際学部での勉学を強く希望し入学を志す理由、学業に情熱を注ぎ続けられる意欲と勤勉さの持ち主であるか、国際コミュニケーションに重要な異文化を理解する素養を有しているか等を中心に面接します(グローバルスタディーズ学科では日本語と英語を併用して面接を行います)。
社会学部	小論文	記述式(60分)		受験生の思考力、意見表現能力を評価し、社会学部で学ぶにあたっての適性・素質を判定します。
	面接	—		この試験では社会学部での勉学を強く希望し入学を志すのかについての適性・素質を判定します。入学後も学業に情熱を注ぎ続けることのできる強い意志を有しているかについても判定します。
環境サステナビリティ学部※	小論文	記述式(60分)		受験生の論理的思考力や文章表現力等を評価するために、あるテーマに沿った小論文を課します。
	面接	—		環境サステナビリティ学部※への入学志望理由を確認し、入学後の学びに対する適性・素養・学業継続意欲を判定します。
情報学部※	小論文	記述式(70分)		情報学部※で学ぶ際に必要な論理的思考を見るために、あるテーマに沿った小論文を課し、その論理性や表現力について評価します。
	数学	記述式(60分)		数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A(図形の性質・場合の数と確率)・数学B(数列)・数学C(ベクトル)
理工学部※	小論文	記述式(70分)		理工学部※で学ぶ際に必要な論理的思考を見るために、あるテーマに沿った小論文を課し、その論理性や表現力について評価します。
	数学(化学)	数学:記述式(60分) 化学:マーク式(60分)		数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A(図形の性質・場合の数と確率)・数学B(数列)・数学C(ベクトル)／化学(化学基礎・化学)
農学部	小論文	記述式(60分)		受験生の論理的思考力や文書表現力等を評価し、農学部で学ぶにあたっての適性を判定します。
	面接	—		農学部が定める入学受入れの方針(アドミッション・ポリシー)への深い理解を前提として、志望する学科に対する明確な動機と学修意欲などを中心に評価します。

※環境サステナビリティ学部・情報学部:2027年4月新設予定(設置届出中)／理工学部:2027年4月、「先端理工学部」より名称変更

出願資格

公募推薦入試(専門高校・専門学科・総合学科対象)

次の①・②いずれかに該当し、かつ出願する学部・学科・課程・領域が定める出願資格を満たす者。

①専門高校、高等学校の専門学科、または総合学科を2027年3月に卒業見込みの者。

②朝鮮高級学校の専門学科、または総合学科を2027年3月に卒業見込みの者。

- 専門高校とは農業高校・工業高校・商業高校等専門教育を主とする高等学校を指します
- 専門学科とは高等学校の中で農業科・工業科・商業科・水産科・家庭科・看護科・情報科・福祉科・理数科・体育科・音楽科・美術科・英語科等専門教育を主とする学科を指します

経済学部 法学部 政策学部 社会学部

3学期制の高等学校においては3年1学期までの、2学期制の高等学校においては3年前期までの学習成績(全体の学習成績の状況)が3.8以上であること。

経営学部

3学期制の高等学校においては3年1学期までの、2学期制の高等学校においては3年前期までの学習成績(全体の学習成績の状況)が3.8以上であること。

以下の出願資格を満たす者。

【商業に関する学科の場合】

高等学校学習指導要領に基づく専門教育に関する教科(商業)の科目(※1)を25単位以上修得している者、または、卒業までに修得見込みの者に限る。

ただし、上記単位数の中に各自自治体の教育委員会が認めた商業科に関する学校設定科目(※2)を5単位まで含めることができる。

【商業に関する学科を除く専門学科・総合学科の場合】

高等学校学習指導要領に基づく専門教育に関する教科(商業)の科目(※1)を25単位以上修得している者、または卒業までに修得見込みの者に限る。

ただし、上記単位数の中に外国語に属する科目(※3)の単位を5単位まで含めることができる。

次のいずれかの資格を取得していること(合格証書の写しを調査書に添付すること)。

- 簿記実務検定1級(全国商業高等学校協会)「会計」「原価計算」ともに合格していること
- 簿記検定2級以上(日本商工会議所)
- 簿記能力検定1級以上(全国経理教育協会)「商業簿記・会計学」「原価計算・工業簿記」(2024年4月以前)、「商業簿記・財務会計」「原価計算・管理会計」(2024年5月以降)とも合格していること
- 情報処理検定1級(全国商業高等学校協会)「ビジネス情報部門」「プログラミング部門」いずれかに合格していること
- 基本情報技術者
- ITパスポート
- 情報セキュリティマネジメント

※1: ビジネス基礎、課題研究、総合実践、ビジネス・コミュニケーション、マーケティング、商品開発と流通、観光ビジネス、ビジネス・マネジメント、グローバル経済、ビジネス法規、簿記、

財務会計Ⅰ、財務会計Ⅱ、原価計算、管理会計、情報処理、ソフトウェア活用、プログラミング、ネットワーク活用、ネットワーク管理。

※2: 高等学校学習指導要領に基づく専門教育に関する教科(商業)の科目25単位に学校設定科目を含める場合は、出願者が修得した年度に関わる科目の学校設定科目設置届の写しを調査書に添付すること。

※3: 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ

国際学部

3学期制の高等学校においては3年1学期までの、2学期制の高等学校においては3年前期までの学習成績(全体の学習成績の状況)が3.8以上であること。

以下の出願資格を満たす者。

【国際文化学科】3学期制の高等学校においては3年1学期までの、2学期制の高等学校においては3年前期までの高等学校学習指導要領に基づく各学科に共通する教科(外国語(英語))の科目(※1)、および、主として専門学科において開設される教科(英語)の科目(※2)の学習成績の状況が4.0以上であること。

【グローバルスタディーズ学科】3学期制の高等学校においては3年1学期までの、2学期制の高等学校においては3年前期までの高等学校学習指導要領に基づく各学科に共通する教科(外国語(英語))の科目(※1)、および、主として専門学科において開設される教科(英語)の科目(※2)の学習成績の状況が4.5以上であること。各学科に共通する教科(外国語(英語))の科目および主として専門学科において開設される教科(英語)の科目の学習成績の状況が、4.0以上4.5未満の場合は、英語について以下の条件のうち1つを満たしていること。なお、取得したことを実施団体が証明する正式文書を高等学校調査書に添付すること。

※1: 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ等、英語に関する科目。

※2: 総合英語Ⅰ、総合英語Ⅱ、総合英語Ⅲ、ディベート・ディスカッションⅠ、ディベート・ディスカッションⅡ、エッセイライティングⅠ、エッセイライティングⅡ等。

2024年4月1日以降に受検した資格・検定試験を有効とする

- a. 実用英語技能検定(英検)2級以上
- b. TOEFL iBT® 55点以上(Test Dateスコアに限る)
- c. TOEIC® L&R 600点以上
- d. 国連英検B級以上
- e. GTEC 920点以上(OFFICIAL SCORE CERTIFICATEを提出してください)

TOEFL®は、公式スコア票(Official Score Reports)または受験者控用スコアレポート(Test Taker Score Report)のいずれかを提出すること。

TOEFL iBT®はTest Dateスコアに限る(「My Best™ Scores」は利用できない)。

※実用英語技能検定は、英検1 day S-CBT、英検2 day S-Interviewを含む(英検IBA®は除く)。※GTECはOFFICIAL SCORE CERTIFICATEを提出してください(CBTを含む)。

※TOEIC®は、L&R IPテスト・IPオンラインテストは除く。

環境サステナビリティ学部※ 情報学部※ 理工学部※

3学期制の高等学校においては3年1学期までの、2学期制の高等学校においては3年前期までの学習成績(全体の学習成績の状況)が3.5以上であること。

※環境サステナビリティ学部・情報学部:2027年4月新設予定(設置届出中)/理工学部:2027年4月、「先端理工学部」より名称変更

農学部

3学期制の高等学校においては3年1学期までの、2学期制の高等学校においては3年前期までの学習成績(全体の学習成績の状況)が3.8以上であること。

農学科を志願する場合は、以下の出願資格を満たすこと。

【農業に関する学科の場合】高等学校学習指導要領に基づく普通教育に関する教科(農業)の科目(※1)を25単位以上修得している者、または、卒業までに取得見込みの者に限る。

【専門学科、総合学科の場合】高等学校学習指導要領に基づく普通教育に関する教科(農業)の科目(※1)を25単位以上修得している者、または、卒業までに取得見込みの者に限る。ただし、「水産」、「家庭」、「商業」の教科・科目を5単位まで上記の単位数に含めることができる。

※1: 農業と環境、課題研究、総合実習、農業と情報、作物、野菜、果樹、草花、畜産、栽培と環境、飼育と環境、農業経営、農業機械、植物バイオテクノロジー、食品製造、食品化学、食品微生物、食品流通、森林科学、森林経営、林産物利用、農業土木設計、農業土木施工、水循環、造園計画、造園施工管理、造園植栽、測量、生物活用、地域資源活用等。

*本学では朝鮮高級学校の該当12校を2027年3月31日までに修了見込みの者については出願資格を認めています。

【朝鮮高級学校: 12校】

北海道朝鮮初中高級学校 東北朝鮮初中高級学校 茨城朝鮮初中高級学校 東京朝鮮中高級学校 神奈川朝鮮中高級学校 愛知朝鮮中高級学校 京都朝鮮中高級学校 大阪朝鮮中高級学校 神戸朝鮮中高級学校 広島朝鮮中高級学校 山口朝鮮中高級学校 九州朝鮮中高級学校

合否判定

公募推薦入試

(専門高校・専門学科・総合学科対象)

経済学部・法学部: すべての試験科目を受験した者を対象とし、「英語」と「エッセイ」の合計点で合否を判定します。

経営学部: すべての試験科目を受験した者を対象とし、「国語」と「面接」の合計点で合否を判定します。

政策学部: すべての試験科目を受験した者を対象とし、「英語」と「小論文」の合計点で合否を判定します。

国際学部・社会学部・環境サステナビリティ学部※・農学部: すべての試験科目を受験した者を対象とし、「小論文」と「面接」の合計点で合否を判定します。

情報学部: すべての試験科目を受験した者を対象とし、「数学」と「小論文」の合計点で合否を判定します。

理工学部: すべての試験科目を受験した者を対象とし、「数学」または「化学」と「小論文」の合計点で合否を判定します。

※環境サステナビリティ学部・情報学部:2027年4月新設予定(設置届出中)/理工学部:2027年4月、「先端理工学部」より名称変更